

# **川崎町の資源をいかす会**

## **仙台－川崎薪ストーブの会の活動紹介**

### **〔目次〕**

- 1. はじめに**
- 2. 安全ポリシー**
- 3. 作業の概要**
- 4. 作業の服装**
- 5. 作業の道具**
- 6. 作業前ミーティング**
- 7. 作業場にある共有機材、個人の機材**
- 8. 休憩**
- 9. 後片付け**
- 10. 作業の報告**
- 11. きもちの受取**
- 12. 道具の手入れ**
- 13. 定例会について**
- 14. B 作業について**
- 15. A 作業について**
- 16. C 作業について**
- 17. 薪の販売について**
- 18. 年次総会について**
- 19. 役員紹介**

## 1. はじめに

仙台-川崎薪ストーブの会は特定非営利活動法人川崎町の資源をいかす会の分科会組織です。会の名称が示すように資源を生かして、自然に優しい生活を送ろうという趣旨のもとに活動しているグループです。

薪ストーブの会では、自宅の薪ストーブで使う薪を自分達で作るとというのが一番の目的ですが、放置された里山を適切に管理し、森林資源の再生を手助けしたり、セラピー効果のある森林の中で、心身をリフレッシュする、林業技術を習得する等々多岐にわたる活動もその目的の一つです。

この冊子は、薪ストーブの会が発足してから積み上げてきた活動のノウハウ、絶対に守らなくてはならない事項等を整理したものです。まだまだ発展途上の会ですから、どんどん改定されていくと思いますが、新たに入会される方のお手伝いになれば幸いです。

## 2. 安全ポリシー（重要）

山での作業は危険と背中合わせです。安全は各自で確保することを原則とし、会では保険等に加入していません。幸いこれまでに事故は発生していませんが、今後も決して大事故を発生させないように、次の点について各自が毎回確認していただくようお願い致します。

①無理をしない。どんな作業においても共通なポリシーです

②技術的に未熟な場合は、背伸びをせずに序々にステップアップする。会のメンバーは森林作業については全員素人の集団です。ただ発足以来研究研鑽を積み重ねて、かなり高度な技術を取得してきたメンバーも出てきました。全員素人ですから、競争や見得張り、知ったかぶりなどありません。

③疲れたり、体力的に厳しい場合は休んだり外れたりしましょう。時給で働いている会ではありません。効率という文字もこの活動にはあてはまりません。

④作業内容について他人へのおせっかいはしませんが、安全に関するおせっかいは積極的に口出ししましょう。

⑤特に危険な伐倒、原木の架線移動、チェーンソー作業については、自己流で行わず先輩メンバーに確認して実施しましょう

⑥先輩メンバーも素人です。一つ一つの作業を頼り切ったり、一方で責任を転嫁したりするのはご法度です。

⑦安全を確保するには、適切な服装、道具の操作方法の取得、道具の手入れ、仲間との情報交換が欠かせません

⑧会としては災害損害保険に加入しておりませんので、個人の責任において損害保険・賠償責任保険に加入することをお勧め致します

⑨山での事故、怪我は簡単なものでは済みません。万が一の時に各自がどう行動したら良いか、常に頭に描きながら行動して下さい。

## 3. 作業の概要

作業は個人個人のスキル、技術レベル、時間的な制限、得て不得手などを最優先にして実施されます。決して背伸びや無理をしないのが基本です。（安全ポリシー参照）

・作業に適した服装に着替え（作業の服装参照）

・自分にあった作業道具を使います（作業の道具参照）

・作業場所へは各自で移動します

・作業時間は概ね 10:00-12:00 13:00-15:00 の午前 2 時間午後 2 時間です

・作業前に、作業内容はその日の状況から各自が自分で判断することを第一に、必要に応じて先輩メンバーに相談しながら主体的に行います。

・作業は架線を使った移動作業のように何人かがチームとなって行うものもありますが、大半が個人で行うものです。

- ・作業に使う道具は個人の道具を持ち込みますが、運搬用のキャタピラカー、油圧の薪割り機械、チェーンソーなど会の共通機材もあります。
- ・立ち木の伐倒、枝打ち、玉切り、運搬、薪割り、薪棚への運搬、薪棚の作成、柴の整理、下草狩り、除雪、作業場所周辺の整理整頓、用具の手入れ、林道整備などが主な作業です。
- ・お世話役から「これをやって下さい」のような作業指示はしません。自分ができること、やってみたい事を自ら決めて実施して下さい。
- ・休憩はお世話役の号令で適宜実施します。
- ・お昼の昼食休憩では、各自弁当などを持参して下さい。休憩小屋で揃って食事をしたり、心地よい空気の中でお弁当を食べたり自由な時間です
- ・作業が終わったら、後片付けをし、点呼をとって解散します
- ・点呼は安全の確認と同時に、きもちを支給するベースとなりますので、必ずお世話役に届け出て下さい。途中で帰る場合も同様です。
- ・使った道具のメンテナンスは各自の責任で実施して下さい
- ・消耗品のうち、混合ガソリンとチェーンソーオイルは会の経費で用意しています
- ・運搬に軽トラックを使った場合も、ガソリン代の実費相当が支給されます
- ・消耗品や経費の取扱いは大まかに決めています。細かな取り決めをして事務作業が煩雑になるのは会の趣旨にそぐわないので、課題についてはその都度先輩メンバーと相談して決める方法にしています。

#### 4. 作業の服装

- ・ヘルメットをかぶりましょう
- ・手袋は重要です。チェーンソーや機械を使う際には皮製の手袋を着用して下さい。冬場は防寒のために、軍手の上に防水手袋を着用するのをお勧めします
- ・チェーンソー作業を行う時には、防護メガネを着用すると快適です
- ・靴は、つま先に防護キャップのついた「安全靴」をお勧めします。足場が悪く、ぐちゃぐちゃになっている場所も多いですから、長靴タイプがお勧めです。冬場は防寒のために、中敷を一枚追加すると快適です
- ・上着、ズボンは作業に適したものであれば何でも OK ですが、思いのほか発汗しますので、透湿性素材のものをお勧めします。
- ・山には更衣室はありませんので、自家用車の中で着替えて下さい
- ・山にはトイレ也没有ありません。「きじ射ち」でお願い致します。近く簡易トイレを用意します。
- ・自身に危険や事故が起きた場合の連絡、また伐倒の合図のために、ホイッスルを着用することをお勧めします
- ・腰にベルトを着用し、そこに①手ノコギリ②鉋③くさび④パールなどを装着すると便利です
- ・他所持していると便利な物として、チョーク（玉切りなどの目印）、メジャー、手カギ（鳶口）、ハンマー、ファストエイドキット、飴玉などがあります

#### 5. 作業の道具

##### ①チェーンソー

- ・エンジンチェーンソーです。初めて購入する時は色々迷うと思いますが、使い込むに従って上級機種が欲しくなりますので、1クラス上の機種を購入することをお勧めします。
- ・国産ではキョーリツ、新ダイワ、ゼノアなどが本格作業向きです。
- ・舶来ではスチール、ハスクバーナーなどですが、お値段も高いです。
- ゼノアは OEM で国産メーカーブランドになっている機種もあります。（リョービ、マキタなどの一部）
- ・トップハンドルモデルは、枝打ちなどの軽作業、玉切りや伐倒にはリアハンドルモデルがお勧めです。持ち運びには軽量モデルが適していますが、玉切りにはパワーも必要です

- ・ガイドバーの長さは 35cm モデルが万能です。ガイドバーだけの交換も可能です。
- ・ソーチェン（チェーン歯）は重要なアイテムです。ガイドバーによって使えるソーチェンが決定してしまいます。ガイドバーも使える機種が限定されますから、ソーチェンから機種を選ぶのも一つの手段です

- ・ソーチェンは種々ありますが、歯（コマ）の大きさ太さ、コマの長さ、コマの数などで表示されています。詳しくはオレゴンのカタログを参照して頂きますが、代表的なものとして 21BPX064EJ(上級パワーモデル用)

91VG052EJ(普及モデル用)

- ・燃料は 25:1 の混合ガソリン、専用チェーンソーオイル（歯の潤滑冷却）が必要です。ガソリンとオイルは同時に空になる容量ですので、どちらかが先に切れる時は点検が必要です

## ②手ノコギリ

玉切りに使う大鋸は新妻会長の紹介でプロ用（五千円前後）を購入するのをお勧めします。枝打ちなどの手ノコギリは二千円前後のものを使い比べて自分に合うものを選んで下さい。

## ③斧

斧の刃先も重要ですが、長期間使うとなると「柄」の部分の耐久性も重要です。安物ではなく、しっかりした品質のものをお勧めします（1万～2万）

## ④油圧薪割り

会ではエンジン式の強力薪割り機械を所持しています。操作方法などは先輩メンバーに確認して下さい。家庭用に安物の薪割り機はあまり役にたたない様です。

## ⑤鳶口

丸太を移動するときに使います。テコの力を使うので小さな力で作業できます。ホームセンターでも手に入りますが、インターネットオークションでもかつてのプロ用が安く入手出来ます。

## ⑥鉋

サイズや形状、値段も色々です。山で枝を払うのに使う目的ですと、刃先が剣のものより平らで歯の厚みのあるものがお勧めです（5千～1万円）

## ⑦くさび

小型のものは、玉切りの時にチェーンソーの歯が挟まれない様に使います（千円以下）

大型のものは、伐倒の際に最後の追い込みを打つと時に使います（2～3千円）

薪割りに使う金属製のくさびもあります

## ⑧丸やすり

ソーチェンの歯を研ぐ時に使います。必ずサイズの合ったものを使いましょう。（200円～）

## 6. 作業前ミーティング（定例会、B 作業）

山の作業現場でミーティングを行います。

当日の作業ポイント、特にグループで実施しなければならない作業についてお世話役と話し合っ

て決めます。

疑問点はここでどんどん質問して下さい。

解散する前に「自分はこれこれをします」と各自で宣言して下さい。

初めて参加する時や、久しぶりの時には自己紹介をお願いします。山の作業では参加者の意思疎通/相互信頼が大切です。

理事の小笠原さん、川崎さんが主としてお世話役を担当されますが、不在の際は菊地会長、関口副会長、その他ベテラン会員が担当する場合があります。何れも会の発足以来研究研鑽を重ねてきたメンバーですが、山の作業は素人ですので、活発に意見交換することも大切です。

## 7. 作業場にある共通機材、個人の機材

- ・チェーンソー（4台）は菊地理事長宅に保管しています
- ・大型エンジン薪割り機械（宇田川さんが操作上達しています）

- ・ 中型エンジン薪割り機械（現在故障中です）
- ・ クローラ運搬車（二台）（山本さんが操作上達しています）
- ・ 架線&エンジンウインチ（小笠原さん提供）
- ・ 鷹口      ・ スコップ      ・ 斧

## 8.休憩

作業の安全確保の為に、適宜お世話役又は先輩メンバーから休憩の連絡がありますので、作業を中断しましょう。

昼休みは一時間あります。定例会の場合は集会場に戻って食事をしても良いですし、作業場の休憩小屋で食事をしても結構です。休憩小屋では、薪ストーブを使って味噌汁や焼肉を楽しむ時もあります。お湯が沸いていますので、カップ麺などの調理も可能です。インスタントコーヒーもありますので、マイカップを持参して下さい。

休憩時間にチェーンソーの歯を手入れしたり、色々な情報交換をしましょう。技術的な問題等もここで議論したり、教えてもらったりしましょう。

## 9.後片付け

整理・整頓・清潔・清掃の4S精神で後片付けをお願いします。

作業途中で中断しないように、時間配分をしながら作業を続けますが、どうしても途中で終わってしまった場合はお世話役・先輩メンバーに報告して下さい。

A・B作業で、定例日以外に入山する方もいますので、特に安全面での仕掛かりが無いように後片付けをお願いします。

## 10.作業の報告

定例会の場合は集会場に戻って作業の報告会を行、きもちをいただきます。B作業では作業現場で集まり、お世話役に作業内容を報告します。お世話役はメールで事務局に作業内容と参加者を報告し「きもち」を記載してもらいます。

## 11.きもちの受取

作業1時間あたり「1きもち」が支給されます。きもちは薪、キノコホダ木、白炭等と交換することが出来ます（1きもちで乾燥薪1束0.025m<sup>3</sup>）白炭は9きもちです。

定例会では作業後の報告会で手渡され、B作業では事務局に報告された後、まとめて支給されます。「きもち」を受け取らず、薪や玉切り材で精算することを推奨します。（その日のきもち分を薪や玉切り材でお持ち帰り頂くと、薪棚の有効利用ができるので、自宅に保管場所がある方は是非ご協力ください。）

## 12.道具の手入れ

作業道具の手入れ、特に刃物（ソーチェン、鉋、のこぎり）の手入れは作業の安全や効率に大きく影響します。

プロとアマの違いは、刃物の研ぎ方にあると良く言われますが、なかなかマニュアルだけでは技術が取得出来ない部分でもあります。定例会や講習会の際に積極的に教えてもらい、技術の研鑽に努めましょう。

## 13.定例会について

原則第二日曜日に定例会が実施されます。年間日程を定例会で決定します。

定例会では、山で実際作業するだけでなく、報告会で情報交換をしたり会の活動について話し合ったり、講師を招いて実地指導を受けたりする機会もあります。

9:30までに腹帯集会場に集まって下さい。弁当・飲み物持参です。

何をしたらいいかわからない人は、お世話役に聞いて自分のできる範囲で行ってください。

#### 14.B 作業について

毎月第一、第三水曜日と土曜日を B 作業の日としています。

B 作業とは、会の為に作業奉仕をすることで、B 作業の日以外でも届け出て作業可能です。

Lumber Jack Club というインターネットメールシステムの中で、日程や参加者の出欠連絡を行っていますので、登録されると便利です。現在会員数は 80 余名、宇多川さんが世話人を担当しています。入会希望の方は事務局までお知らせください。

#### 15.A 作業について

自分の薪を確保するために行う作業です。

所定の入山届け、入山料、(一人 1 キモチ) 原木持帰り費用 (1 キモチ 0.2 m<sup>3</sup>) が必要です。

#### 16.C 作業について

B 作業のうち、ベテラン有志が「きもち」の支給を受けることなく、完全ボランティアで実施する作業です。安全のため届出だけは実施しています。

#### 17.薪の販売について

会員への薪の販売価格については別表の通りです

また、運搬をお手伝いする場合には仙台市周辺及び川崎町周辺に限定し、軽トラックを所有している会員有志にお手伝い頂き実施致します。運搬実費として軽トラック所有者に別表の通りお支払い下さい。会員以外への販売並びに運搬サービスは行っていません。

#### 18.定期総会について

毎年一回年次総会 (5 月中旬から下旬の間) が実施され、活動報告、会計報告、次年度活動報告が報告/決議されます。

同日、試食会などのイベントも併せて実施致しますので、ぜひご参加下さい。また、参加出来ない場合は委任状をご提出下さい。

19.役員紹介薪ストーブの会会長	菊地重雄
薪ストーブの会副会長	関口昌弘
薪ストーブの会理事	小笠原則夫
薪ストーブの会理事	川崎清次
資源を生かす会事務局	宮城加代子

#### 連絡先

〒989-1501 柴田郡川崎町大字前川字六方山 3-225

特定非営利活動法人 川崎町の資源をいかす会

事務局 0224-87-2270 FAX 兼用 宮城加代子

メール [k-miyagi@mtc.biglobe.ne.jp](mailto:k-miyagi@mtc.biglobe.ne.jp)

川崎—仙台薪ストーブの会会長 菊地重雄

自宅 0224-84-5854

FAX 0224-84-6007

**\*事務局からのお願い** 定例会や B 作業に参加される場合は必ず事前に事務局までお知らせください。